

2019年12月期 決算説明資料

2020年2月27日

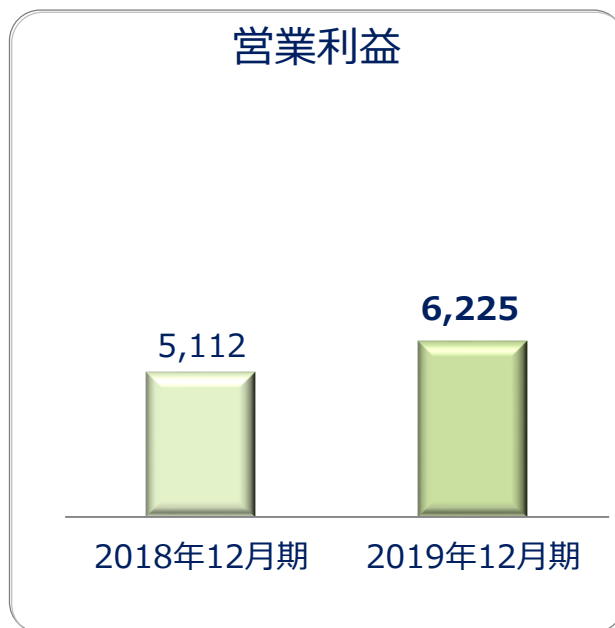
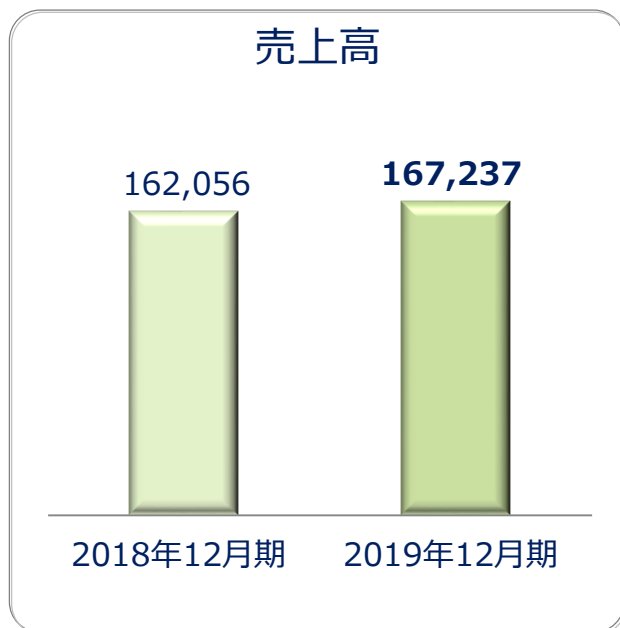
サカタインクス株式会社

本資料に記載されている将来の計画数値、種々の施策は2020年2月27日現在で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものでございますが、今後の経済情勢、事業環境等により変化することもあり、計画数値、種々の施策を確約したり、保証するものではありません。

2019年12月期 連結業績



(単位：百万円)



(単位：百万円)

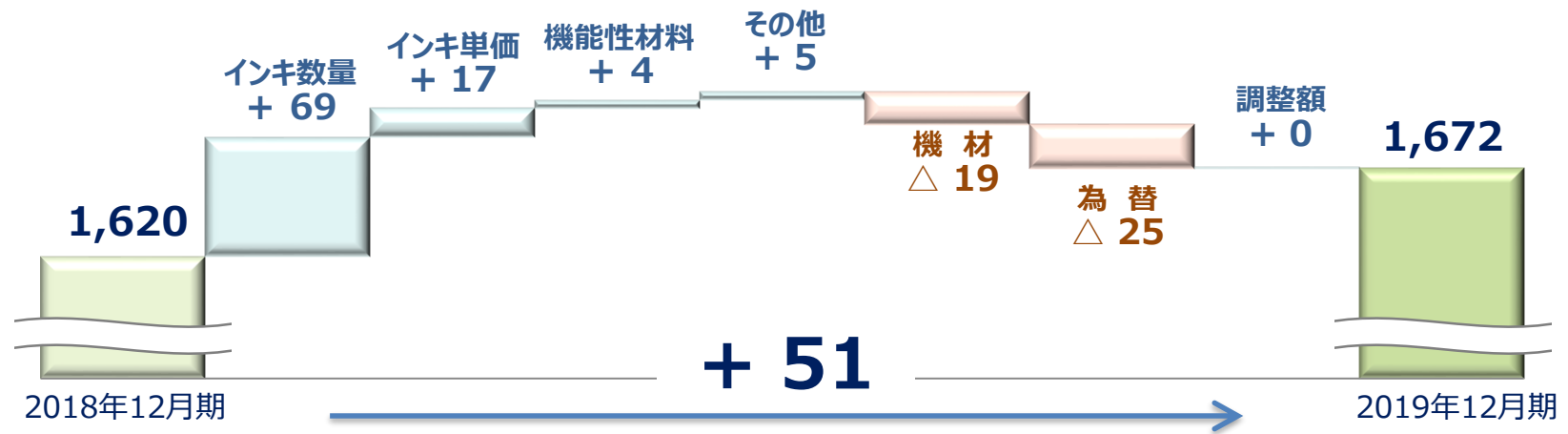
	2018年12月期		2019年12月期					
	金額	売上高比率 %	金額	売上高比率 %	増減額	増減率 %	為替換算影響額	為替影響排除後増減率 %
売上高	162,056		167,237		5,181	3.2	△ 2,548	4.8
営業利益	5,112	3.2	6,225	3.7	1,113	21.8	△ 24	22.3
経常利益	6,910	4.3	7,319	4.4	408	5.9	△ 16	6.2
親会社株主に帰属する当期純利益	4,692	2.9	4,114	2.5	△ 577	△ 12.3	21	△ 12.8

期中レート(USドル) 110.43円

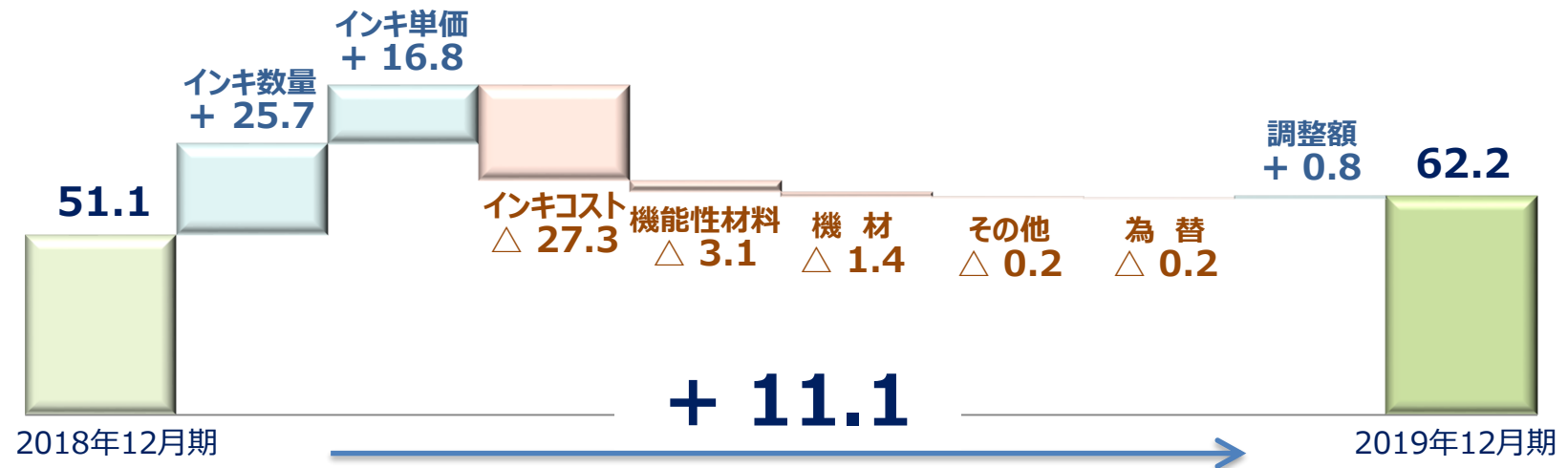
109.05円

前期比 要因別増減

売上高 (億円)



営業利益 (億円)



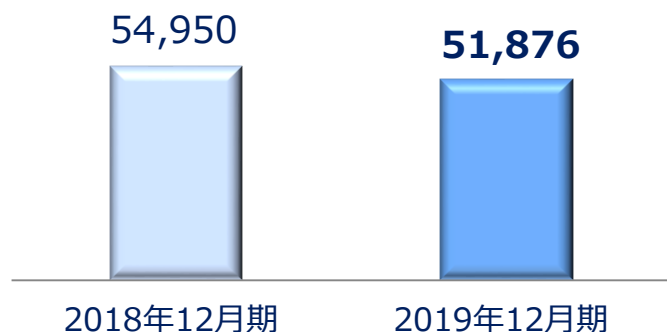
セグメント別 売上高・営業利益

(単位：百万円)

		2018年12月期 金額	2019年12月期		
			金額	増減額	為替換算影響額
売上高	印刷インキ・機材（日本）	54,950	51,876	△ 3,074	—
	印刷インキ（アジア）	32,156	35,277	3,120	△ 1,162
	印刷インキ（米州）	44,957	48,771	3,814	△ 587
	印刷インキ（欧州）	9,321	9,790	469	△ 616
	機能性材料	12,185	12,452	267	△ 189
	報告セグメント計	153,571	158,168	4,596	△ 2,555
	その他	16,335	16,837	501	—
	調整額	△7,851	△ 7,767	83	6
	合計	162,056	167,237	5,181	△ 2,548
営業利益	印刷インキ・機材（日本）	1,125	822	△ 303	—
	印刷インキ（アジア）	1,529	2,420	890	△ 68
	印刷インキ（米州）	992	1,945	953	△ 23
	印刷インキ（欧州）	△791	△ 985	△ 193	58
	機能性材料	1,222	926	△ 296	10
	報告セグメント計	4,078	5,129	1,050	△ 22
	その他	390	369	△ 20	—
	調整額	643	727	83	△ 2
	合計	5,112	6,225	1,113	△ 24

※2019年12月期より関係会社であったタイとブラジルを連結子会社化

売上高（百万円）



+

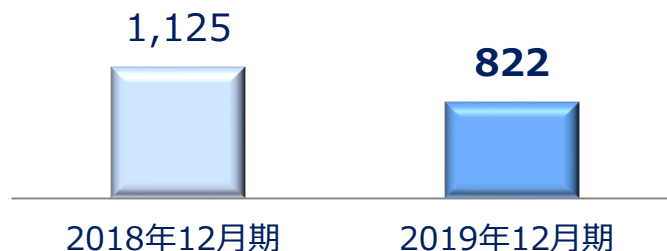
- ▶ ボタニカルインキを始めとした
環境配慮型インキの拡販

-

- ▶ 天候不順・食品廃棄量削減の取り組みによる影響（パッケージ用インキ）
- ▶ 需要が低調に推移
（新聞・オフセットインキ・印刷関連機材）

前 期 比	増減額（百万円）	増減率（%）
	△ 3,074	△5.6

営業利益（百万円）



+

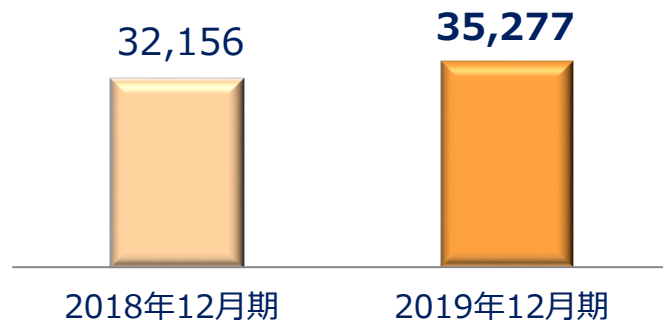
- ▶ インキの価格改定
- ▶ 全般的な経費削減

-

- ▶ 原材料価格の上昇
- ▶ 需要低迷
（新聞・オフセットインキ・印刷関連機材）
- ▶ 貸倒費用の増加

前 期 比	増減額（百万円）	増減率（%）
	△ 303	△26.9

売上高（百万円）



+

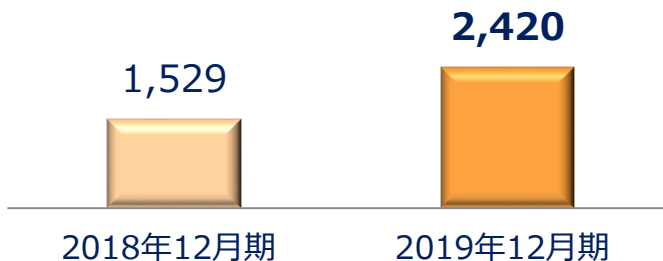
- 販売数量の増加
- インキの価格改定
- タイの新規連結

-

- 中国環境規制強化による一部の材料供給不足
- 円高による為替換算の影響

	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	3,120	9.7
為替影響排除後	4,282	13.3

営業利益（百万円）



+

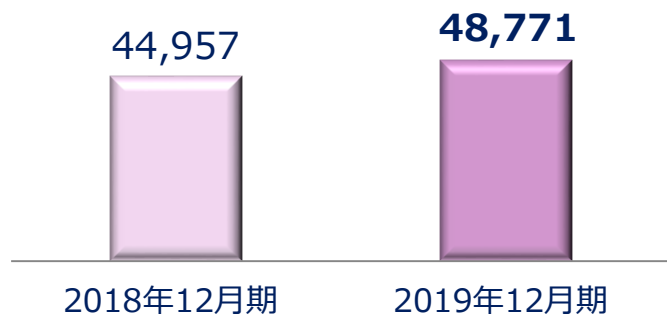
- インキの価格改定
- 原材料費の削減
- タイの新規連結

-

- 一時的な景気の低迷（インドネシア・インド）
- 貸倒費用の増加

	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	890	58.2
為替影響排除後	958	62.7

売上高（百万円）



+

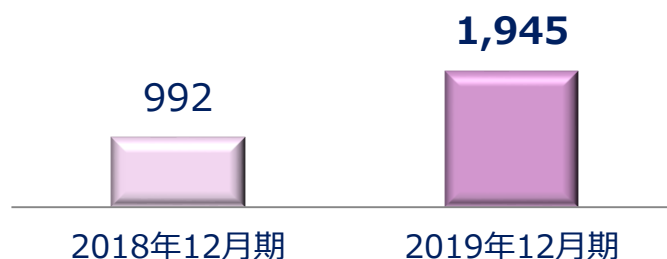
- 販売数量の増加
（パッケージ用・缶用インキ）
- ブラジルの新規連結

-

- 印刷市場縮小による需要減
（情報メディア向けオフセットインキ）

	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	3,814	8.5
為替影響排除後	4,401	9.8

営業利益（百万円）



+

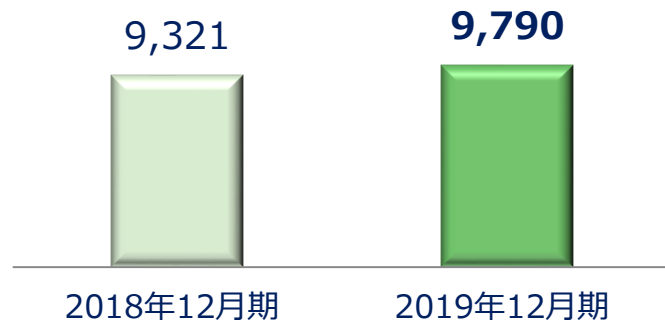
- 販売数量の増加
（パッケージ用・缶用インキ）
- インキ価格の改定

-

- 米中貿易摩擦による影響

	増減額（百万円）	増減率（%）
前 期 比	953	96.0
為替影響排除後	976	98.4

売上高（百万円）



+

- 販売数量の増加
(パッケージ用・缶用インキ)

-

- 円高による為替換算の影響

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	469	5.0
為替影響排除後	1,085	11.6

営業利益（百万円）



+

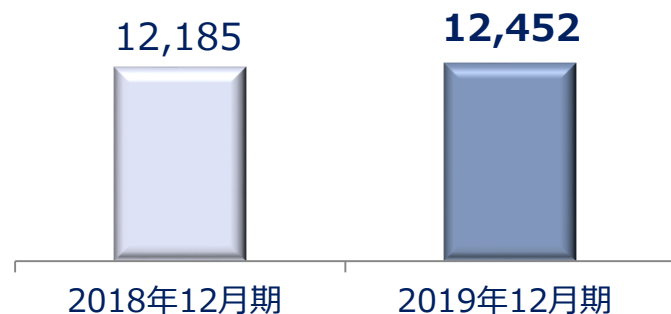
- 販売数量の増加
(パッケージ用・缶用インキ)

-

- 一部原材料価格の高騰
- 生産体制の再編に伴うコストの増加
- 独社買収関連の一時費用

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	△ 193	-
為替影響排除後	△ 251	-

売上高 (百万円)



+

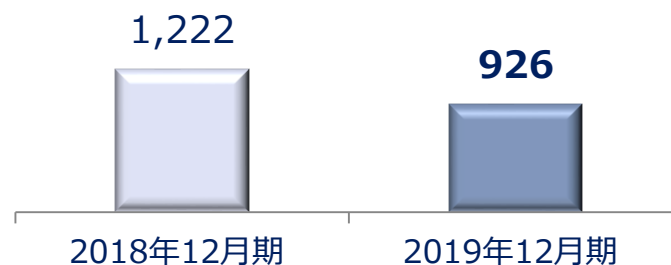
- 販売数量の増加
(インクジェットインキ、トナー)

-

- パネル市況悪化に伴う販売数量の減少
(カラーフィルター用顔料分散液)

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	267	2.2
為替影響排除後	457	3.8

営業利益 (百万円)



+

- 販売数量の増加
(インクジェットインキ、トナー)

-

- 原材料価格の上昇
- パネル市況悪化に伴う販売数量の減少
(カラーフィルター用顔料分散液)

	増減額 (百万円)	増減率 (%)
前 期 比	△ 296	△24.3
為替影響排除後	△ 306	△25.1

連結貸借対照表の主な増減 ・ 連結キャッシュフロー計算書

◆ 連結貸借対照表の主な増減

(単位：億円)

科目	2018年 12月31日現在	2019年 12月31日現在	増減
現金・預金	71	101	29
売上債権	465	458	△ 6
流動資産	757	790	32
固定資産	697	692	△ 4
資産合計	1,454	1,482	27
仕入債務	318	306	△ 11
短期借入金	104	81	△ 22
流動負債	492	463	△ 29
長期借入金	73	80	7
固定負債	188	205	16
負債合計	680	668	△ 12
自己資本 ※	743	766	23
非支配株主持分	30	47	16
純資産合計	773	814	40
負債・純資産合計	1,454	1,482	27
期末レート (USDドル)	111.00円	109.56円	

借入金合計

2018年12月末 177億円
2019年12月末 162億円

自己資本比率

2018年12月末 51.1%
2019年12月末 51.7%

※ 自己資本
 = 株主資本合計 + その他の包括利益累計額合計

◆ 連結キャッシュフロー計算書

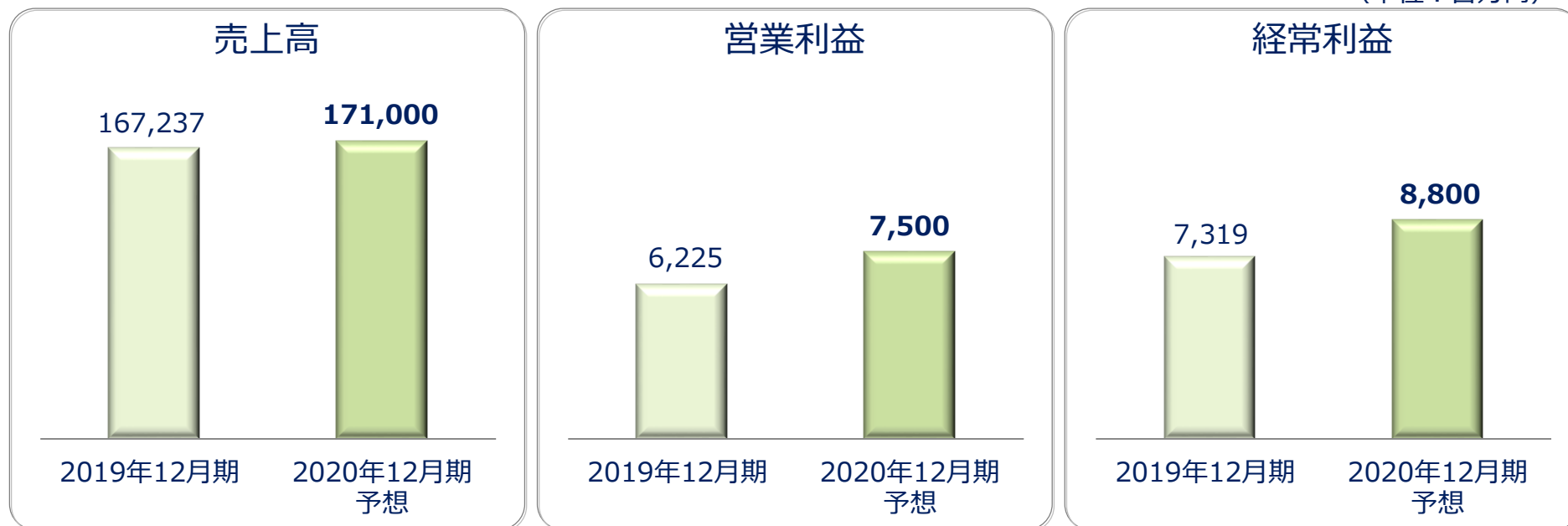
(単位：百万円)

科目	期別 2018年12月期 (2018.1.1~2018.12.31)	2019年12月期 (2019.1.1~2019.12.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,239	9,819
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,279	△ 5,106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122	△ 3,821
現金及び現金同等物の期末残高	6,788	9,361

2020年12月期 通期予想と今後の計画



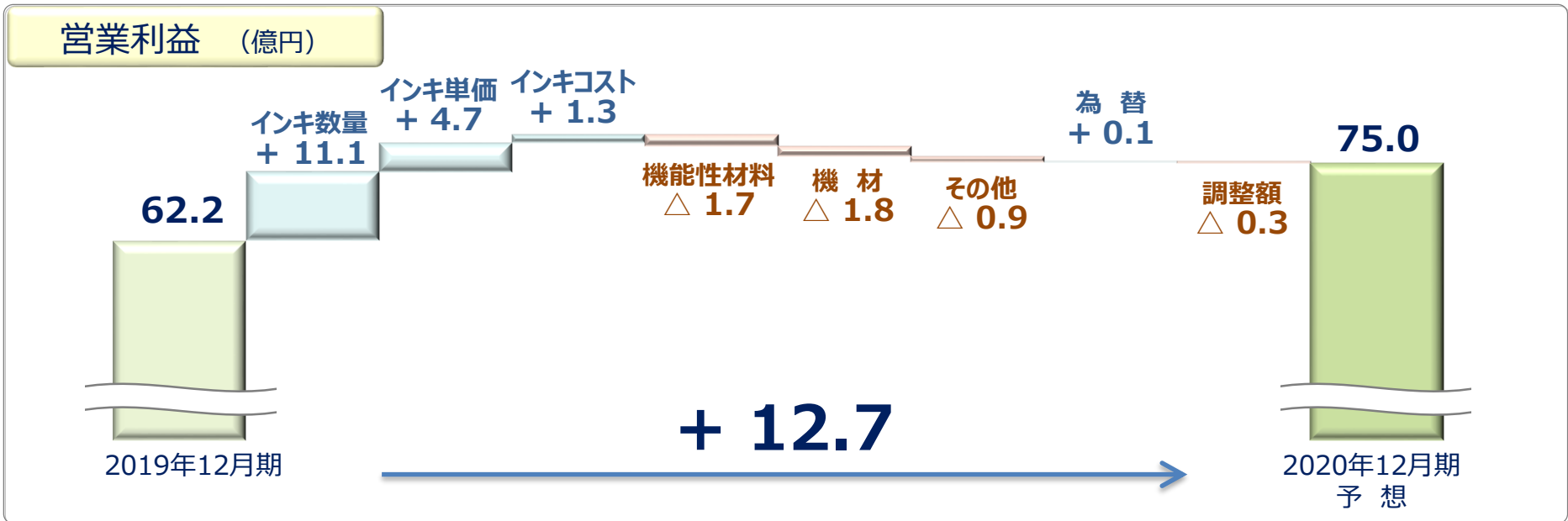
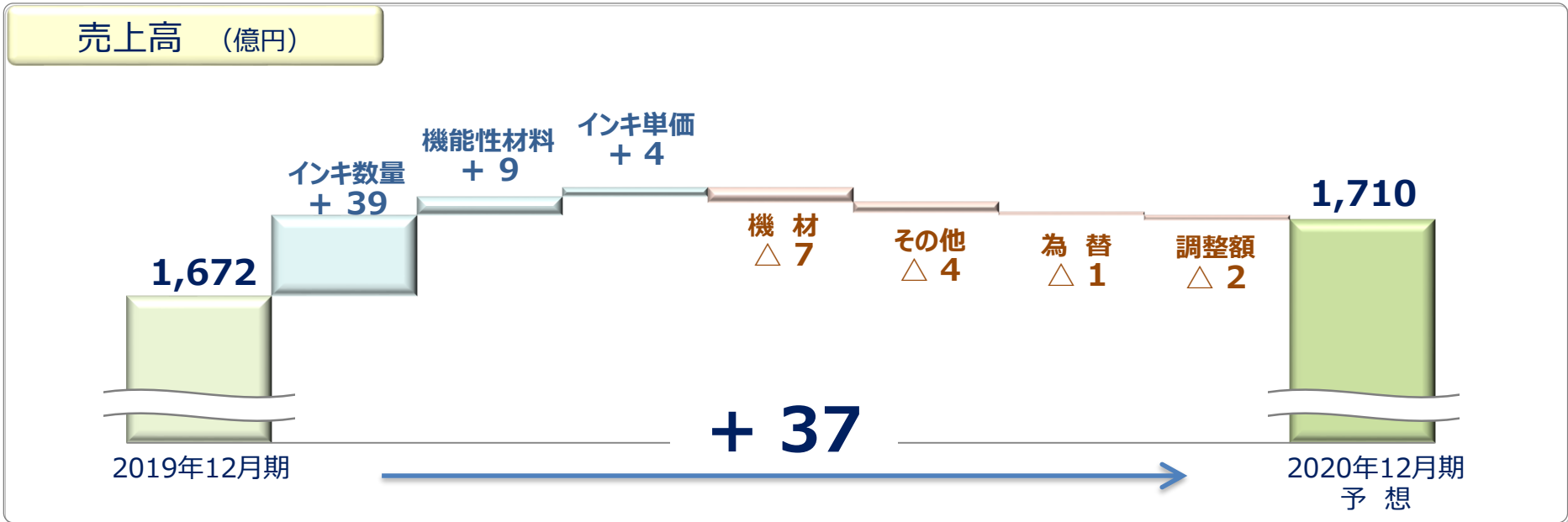
(単位：百万円)



(単位：百万円)

	2019年12月期	2020年12月期 予想		
	金額	金額	増減額	増減率 (%)
売上高	167,237	171,000	3,763	22.5
営業利益	6,225	7,500	1,275	20.5
経常利益	7,319	8,800	1,481	20.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,114	5,800	1,686	29.1
期中レート (USドル)	109.05円	109.00円		

要因別増減予想



セグメント別 連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	2019年	2020年予想	増減率%	2019年	2020年予想	増減率%
印刷インキ・機材（日本）	51,876	52,764	1.7	822	1,407	71.2
印刷インキ（アジア）	35,277	37,047	5.0	2,420	2,769	14.4
印刷インキ（米州）	48,771	49,554	1.6	1,945	1,944	△0.1
印刷インキ（欧州）	9,790	9,932	1.5	△985	△ 363	-
機能性材料	12,452	13,350	7.2	926	759	△18.0
報告セグメント計	158,168	162,647	2.8	5,129	6,516	27.0
その他	16,837	16,362	△2.8	369	285	△22.8
調整額	△7,767	△ 8,009	-	727	699	-
合計	167,237	171,000	2.3	6,225	7,500	20.5

利益プラス要因

- パッケージ用インキの拡販
- 新規ユーザー獲得（米州）
- 環境配慮型インキの拡販
- 販売価格の改定（日本）
- 原材料のグローバル共同購買
- 欧州の組織再編と設備投資効果

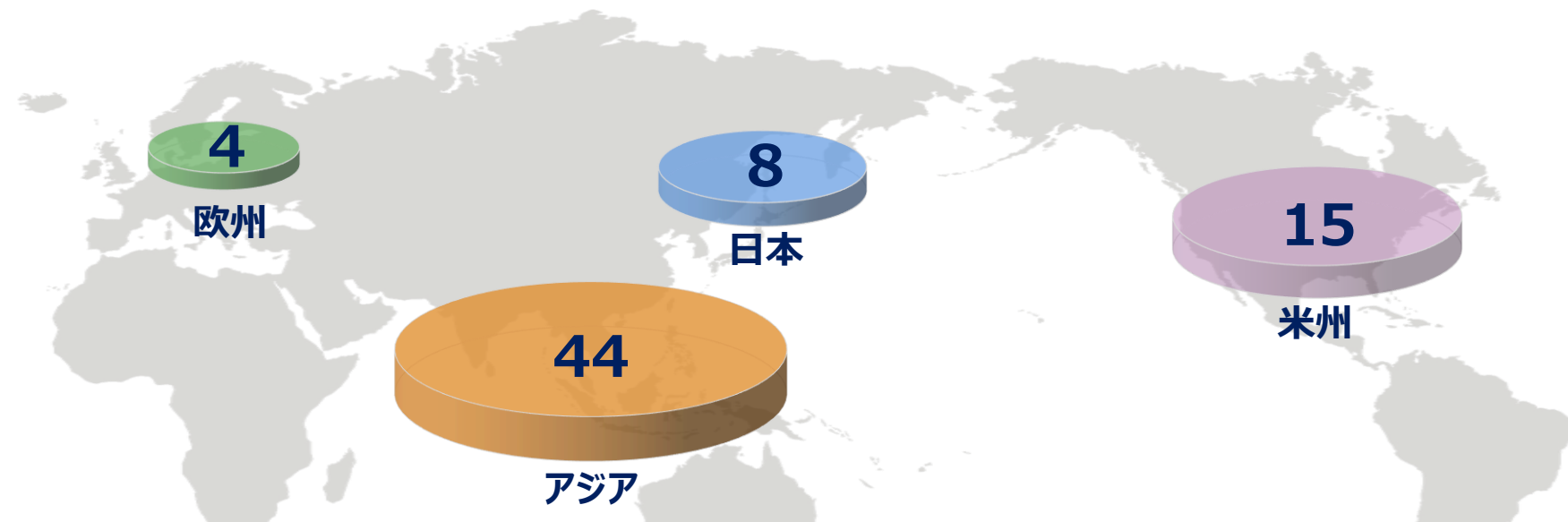
利益マイナス要因

- 先進国を中心としたデジタル化の影響による需要減
- 一部材料価格の高止まり
- 事業拡大に伴う人件費と減価償却費の増加（米州）
- 液晶パネルの単価下落

設備投資額（非連結含む）

2020年12月期 地域別投資計画

（単位：億円）



地域	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期予定
日本	38	17	8
アジア	12	20	44
米州	14	10	15
欧州	3	4	4
合計	66	51	72
減価償却費	42	45	48

イギリス

- 缶用インキ設備増強
(’20年春完工予定)

中国（広東省茂名）

- オフセットインキ第2工場建設
(’21年完工予定)

日本（大阪）

- 研究棟の拡張・充実
(’21年完工予定)

スペイン

- パッケージ用インキ設備増強
(’20年春完工予定)

アメリカ（ウィスコンシン）

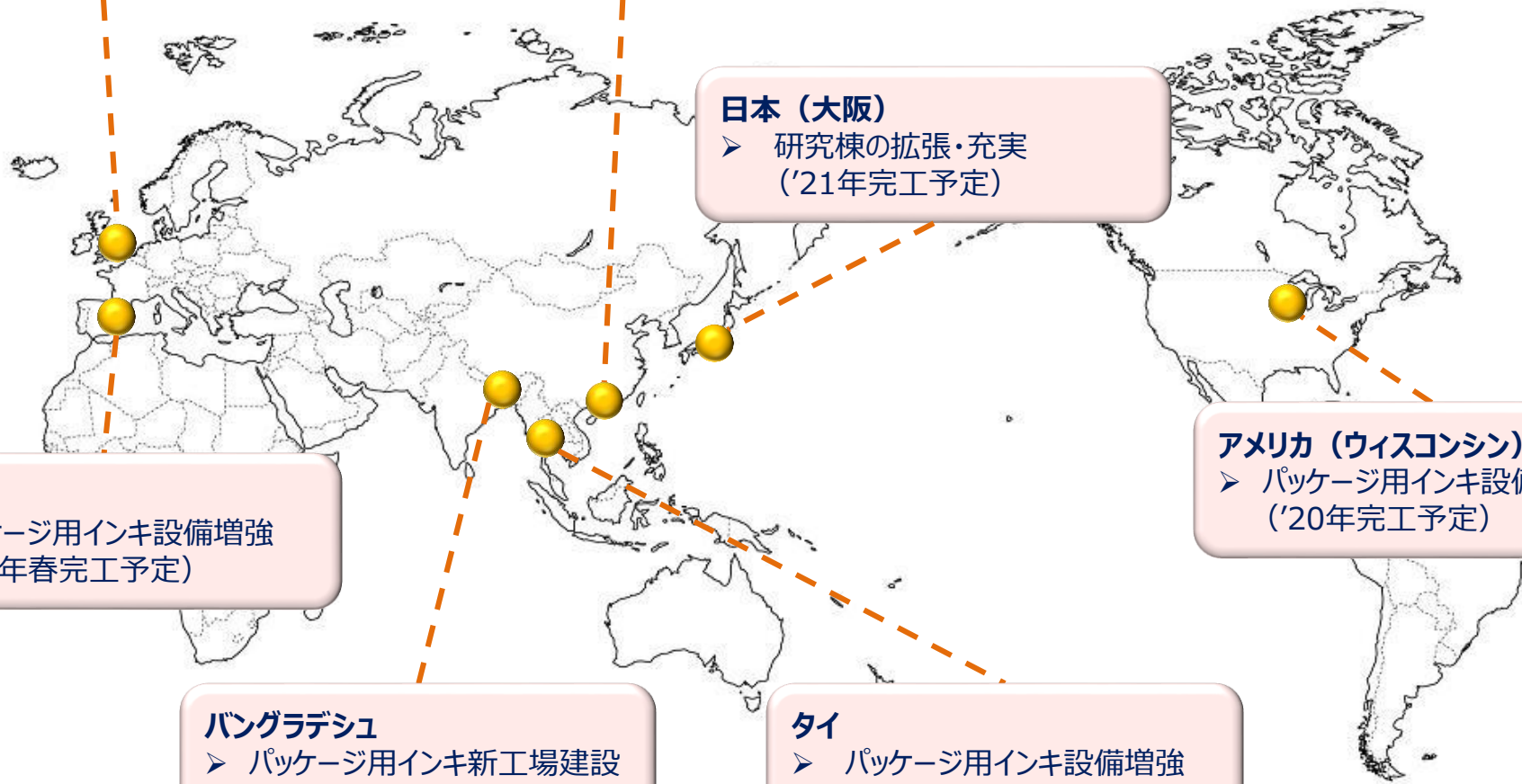
- パッケージ用インキ設備増強
(’20年完工予定)

バングラデシュ

- パッケージ用インキ新工場建設
(’20年完工予定)

タイ

- パッケージ用インキ設備増強
(’20年完工予定)

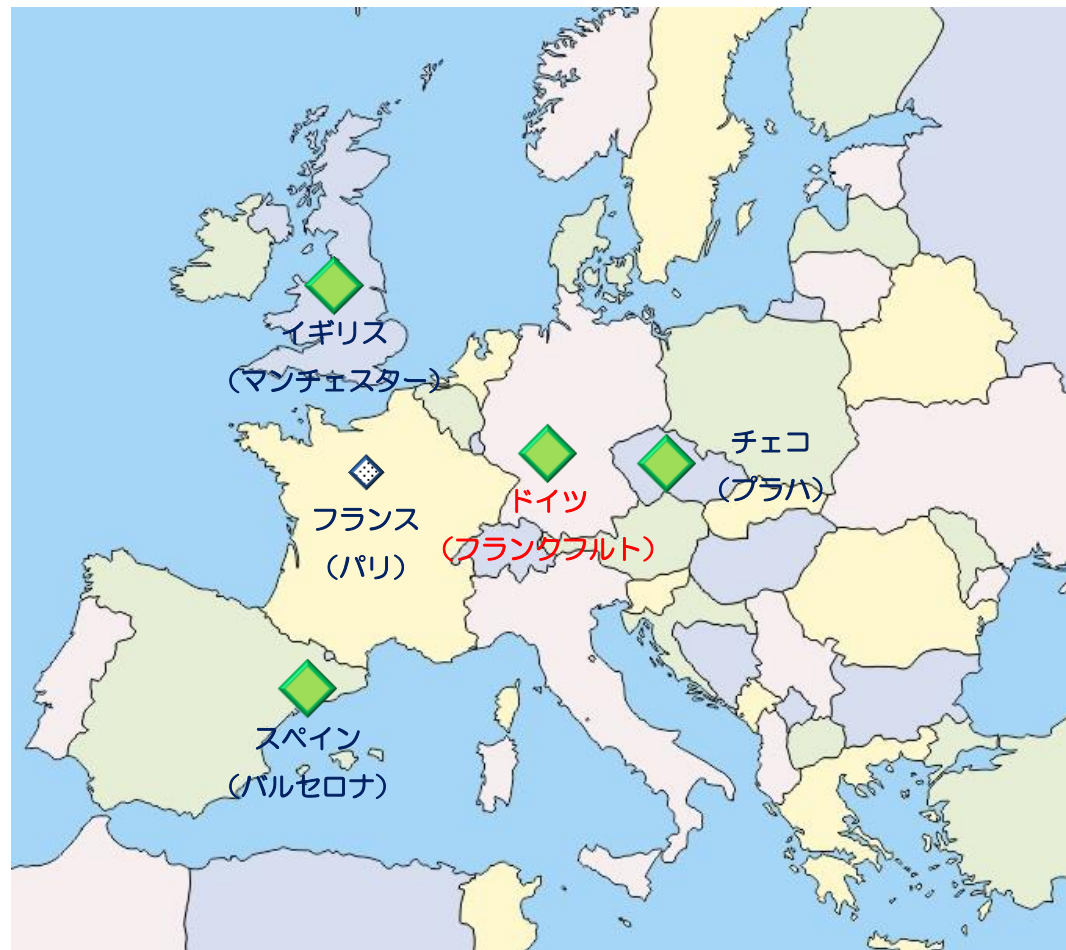


欧州事業の課題

- ◆ 販売拡大に伴う生産能力の不足とそれに伴う経費増加
(人件費・外注委託費・運送費・外部倉庫費等)
- ◆ Brexitによる不確定要素

欧州事業の改善

- ◆ 生産拠点の再編
 - フランス法人の工場閉鎖 (営業拠点として継続)
 - ドイツに新拠点 (RUCO社買収)
- ◆ 設備能力増強
 - イギリス (金属缶用インキ)
 - スペイン (パッケージ用インキ)
- ◆ 品目統合による生産効率化
- ◆ エネルギー硬化型製品へのシフトと拡販
- ◆ EU域内での金属缶用インキ生産



◆ 生産拠点

欧州事業の早期黒字化へ

■ 概要

A. M. Ramp & Co. GmbH（通称 RUCO 社）

- 所在地 : ドイツ連邦共和国（フランクフルト郊外）
- 事業内容 : 各種インキの製造・販売（UV、水性、溶剤性）
- 株式取得 : 2020年6月までに完全取得予定
- 売上高 : 30.6百万ユーロ（約39.9億円） ※2018年12月末



■ 株式取得の目的

- ◆ 欧州の生産・販売体制の再構築とBCP対応
- ◆ 欧州最大の市場であるドイツでの拡販
- ◆ 東欧・ロシア向け販売網・物流網の拡大
- ◆ 欧州地域におけるブランド力強化
- ◆ RUCO社の技術と新しいマーケットの獲得



Copyright(C) T-worlds All Rights Reserved

【既存事業】

印刷インキ事業



パッケージ印刷分野
情報メディア印刷分野



- ・低炭素型社会（省エネ）
- ・海洋プラスチック問題の解決

機能性材料事業



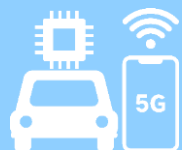
インクジェット印刷分野
ディスプレイ関連分野



- ・印刷廃棄物の削減
- ・タッチパネル汎用化
- ・高色域再現（BT.2020）

【新規事業】

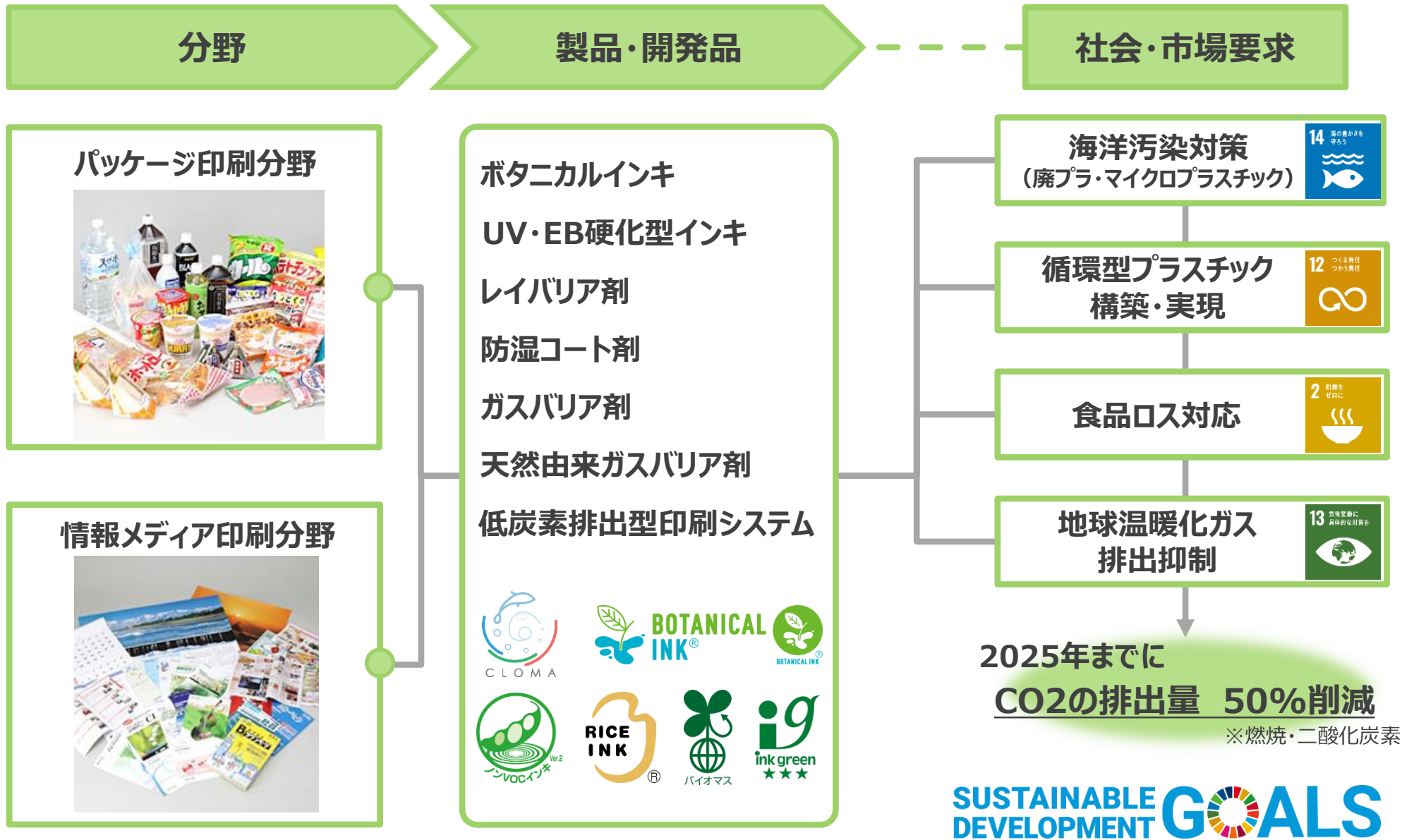
新規事業の創出

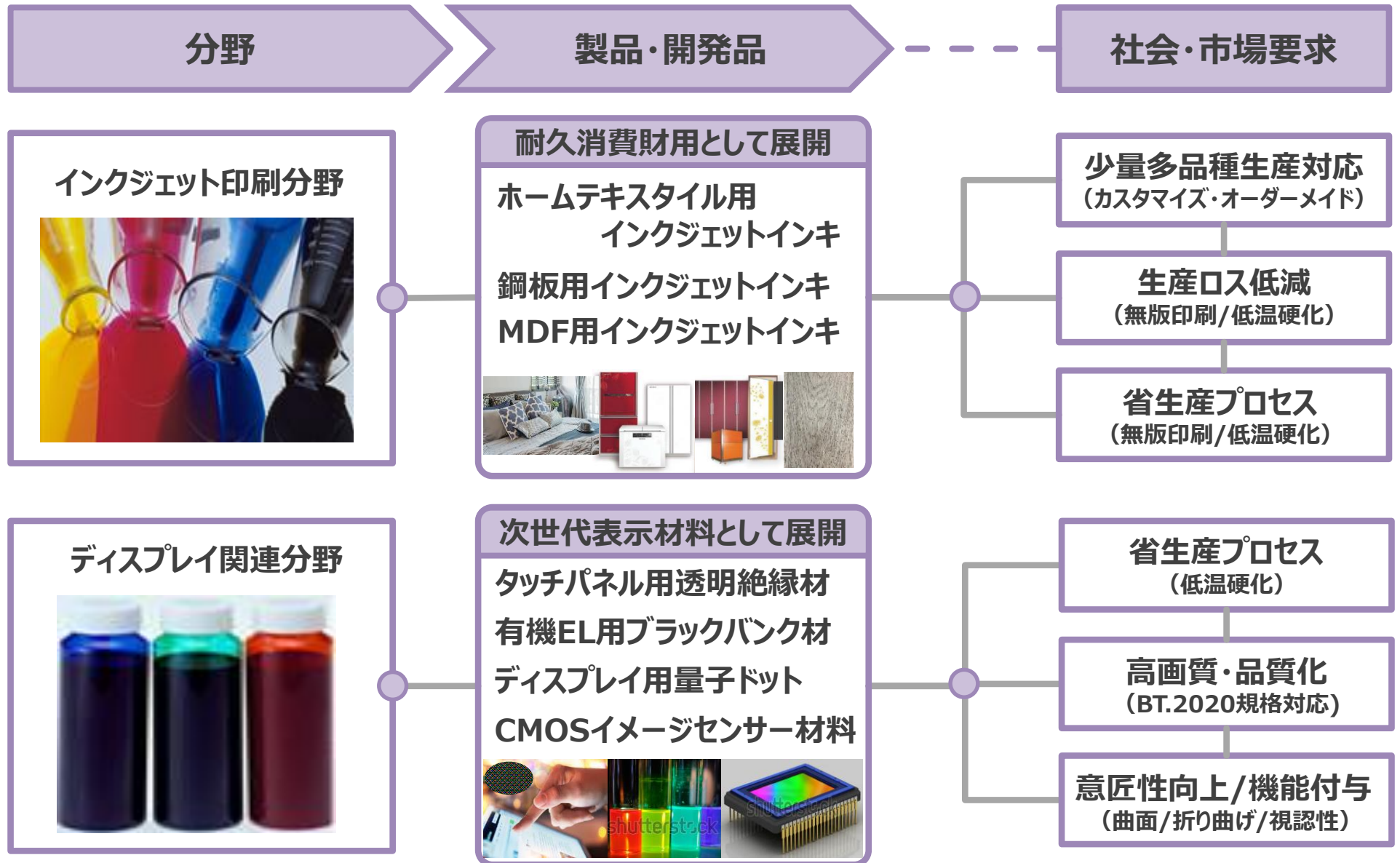


オプトケミカル分野
エレクトロニクスケミカル分野



- ・センサー多様化
- ・自動運転・電動化
- ・省電力化

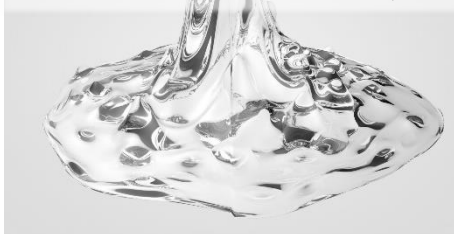




分野/ターゲット製品

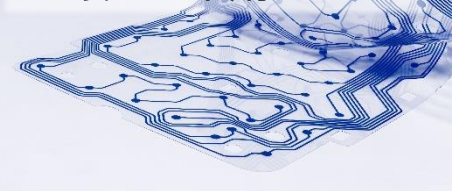
オプトケミカル分野

- ・高屈折材料・低屈折材料
- ・LED封止剤・レイバリア剤



エレクトロニクスケミカル分野

- ・導体（金属・カーボン）
- ・半導体・絶縁体
- ・バリアコート剤

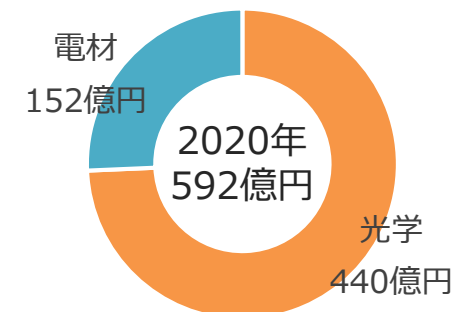


当社のアプローチ

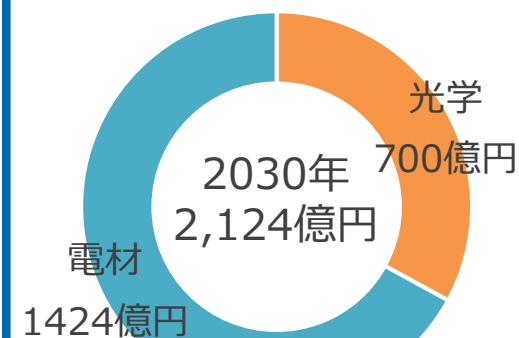


市場規模

新規事業でターゲットとする市場規模



△ 拡大



富士キメラ総研/富士経済より

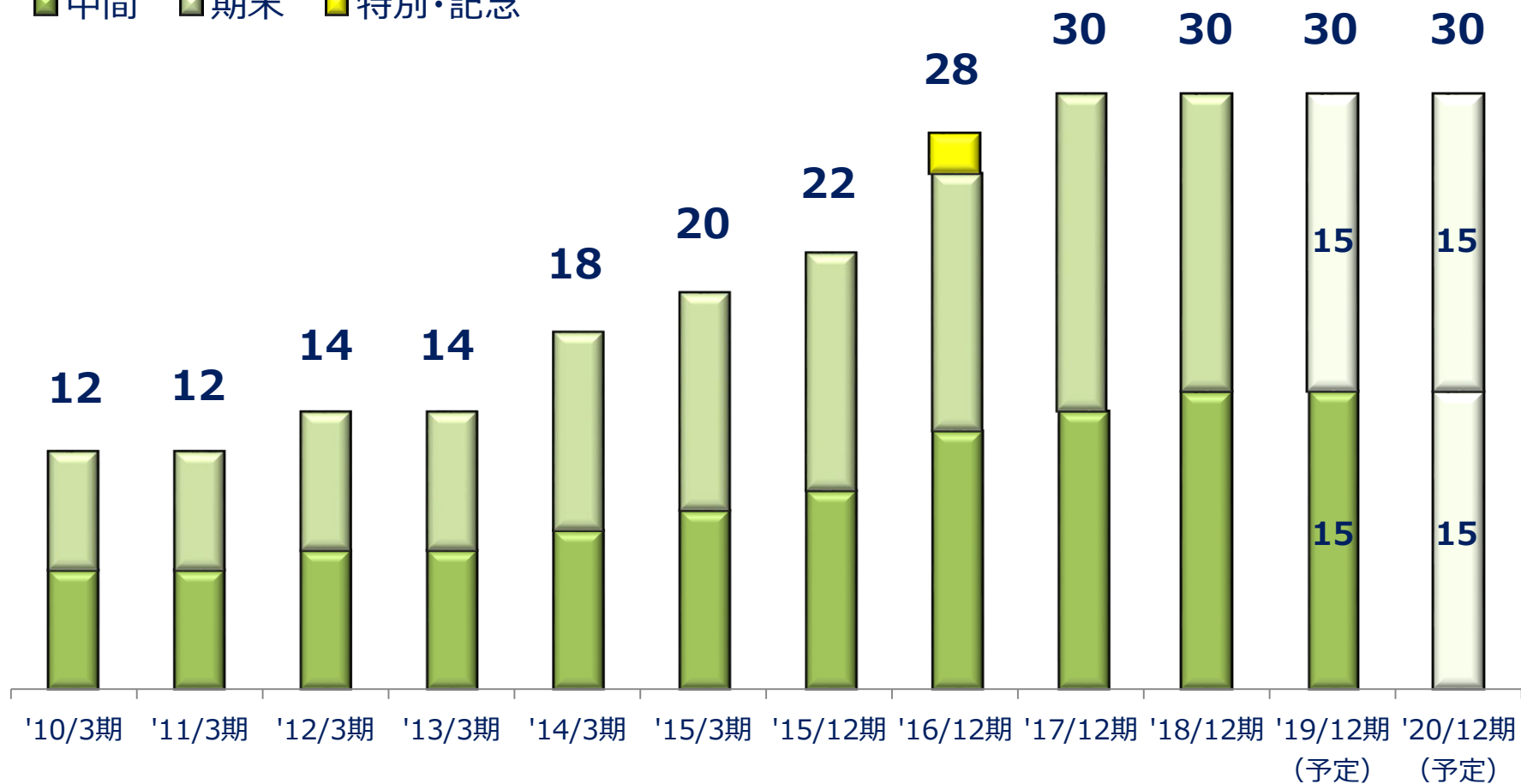
配当金の推移（1株当たり）

<配当方針>

- 安定的な利益還元
- 連結配当性向20%前後～30%前後

（単位：円）

■ 中間 ■ 期末 ■ 特別・記念



E 環境

- 環境基本理念・方針、環境マネジメント体制
- 二酸化炭素排出量、廃棄物および大気汚染物質排出量の削減、水質汚濁防止、生物多様性の保全
- 環境配慮型製品の展開
(環境マークの例) ※当社オリジナルマーク含む



ボタニカル
インキマーク



バイオマス
マーク



インキグリーン
マーク



ノンVOC
インキマーク



植物油
インキマーク

- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に選定
炭素効率性第1十分位
- 再生可能エネルギーの導入
(滋賀工場に太陽光発電所を設置)



指数のロゴ



太陽光第一発電所



太陽光第二発電所

➤ 内部統制システム

S 社会

- 労働環境
 - ・ 時間外労働削減に向けた労働環境の改善
(労働時間管理の徹底、「ノー残業デー」の実施など)
 - ・ 年次有給休暇の取得促進
(全社平均年間取得率50%以上の維持、
年休取得の促進期間設定など)
 - ・ 次世代育成に関する支援
- 労働安全衛生
 - ・ 国内（4工場）
OSHMS認定取得、T P Mアドバンスト特別賞を受賞
 - ・ 海外
OHSAS18001/ISO45001認証取得（5ヶ国）
T P M優秀賞を受賞（米国のカンザス工場）

G ガバナンス

➤ コーポレート・ガバナンス体制 〈意思決定・業務執行体制〉

- ・ 取締役8名（社外取締役3名（うち女性1名）2020/4以降予定）
- ・ 執行役員制度（2018年3月導入）
- ・ 指名・報酬委員会（2018年12月設置）
- ・ インターナショナル・アドバイザリー・ボード（2015年6月設置）
- ・ CSR委員会を最上位の委員会とし、その下に各種委員会を設置

〈監査体制〉

- ・ 監査役会設置会社
- ・ 監査役4名（社外監査役2名含む）

➤ 健康管理

➤ 社会・地域への貢献

- 倫理行動基準、
内部通報制度、個人情報保護

SAKATA INX...

Visual Communication Technology

